

P31

月経困難症に対するピクノジェノールの有用性についての検討

The effect of Pycnogenol for women with dysmenorrhea

○井上 明子, 西谷 雅史, 三國 雅人, 日下 真純

札幌厚生病院 産婦人科

We studied the effect of Pycnogenol on women with dysmenorrhea. Two types of Pycnogenol, Pdr and VOS were randomly given for 2 months to 18 women suffering from dysmenorrhea, and detailed symptoms were written down. CA125 (marker for endometriosis) were measured before and after the study. Both PDr and VOS turned out to be effective for dysmenorrhea especially for those without endometriosis, and CA125 decreased in 5 patients out of 6 who had a high score of CA125 before the study. These results suggested that Pycnogenol could be one alternative way in dealing with dysmenorrhea.

【目的】

ピクノジェノールはフランス海岸松の樹皮から抽出された機能性食品であり、その抗酸化作用、血流改善作用、抗炎症作用により様々な効果が期待されている。今回我々は、ピクノジェノールの月経痛に対する効果を検討した。

【方法】

ピクノジェノールは、PDr（ピクノジェノール、有機セレンウム、ビタミンE・A・C含；株式会社トレードピア）、VOS（ピクノジェノール、有機ゲルマニウム、セレンウム、亜鉛、クロム含；株式会社セラ）を使用し、それぞれを対象患者18名にランダムに割り当てた。内服期間は月経終了日から2ヶ月間（月経2周期）とし、痛みの程度や種類、期間などを経過表に記入し解析した。また、各周期において子宮内膜症の腫瘍マーカーであるCA125を測定しその推移を追った。

【結果】

効果の判定は、PDr群では6例中著効3例、有効2例、無効1例、VOS群では12例中著効3例、有効5例、無効4例であった。著効した6例はいずれも明らかな子宮内膜症の病巣を認めない月経困難症であった。その他、冷えの改善、排卵痛の軽減、美肌効果などの効果も認めた。副作用は18例中4例に口内炎、2例に胃もたれ、1例に嘔気、眼周囲掻痒を認めたがいずれも軽度であった。CA125の値は内服開始前高値を示した6例中、5例に内服後の低下を認めた。

【結論】

子宮内膜症の病巣を認めない月経困難症においてピクノジェノールはその月経痛の緩和に有効であると考えられる。今回、無効であった症例においても継続投与により改善が期待される可能性が示唆された。